

# 消費者理解醸成対策について



2023年3月

農林水産省新事業・食品産業部企画グループ

# 食品の生産コスト上昇に関する動画等の配信について

## 1. 事業目的

原材料価格や原油・燃料費等の上昇等による食品の生産コストの上昇等について、円滑な価格転嫁に向けて、消費者等に対する様々な媒体を用いた周知広報を展開し、価格転嫁を進めている食品事業者を後押しする。

## 2. 事業実施内容（制作動画、30秒CM、ポスター・バナー広告）

- 制作動画 : 牛乳、お茶、豆腐、パン、施設野菜について、生産コスト上昇の背景を消費者に伝える約10分程度の動画等を作成し、公開中。



<農林水産省HPの関連サイトからアクセスください

→ <https://www.maff.go.jp/j/shokusan/kikaku/211227.html>→

【サイト二次元コード】→



- 30秒CM動画 : 上記動画を更に普及させるため、30秒動画を作成。生産コストが上昇している状況においても、日々誇りを持って食品を届けてくれる人がいる。私たち消費者ができることは、「（現状を理解し）買って食べて、応援すること」であることを訴える。食事、料理、食品安全、健康等に関連するキーワードを検索した者に対して発信。



YouTube 及びTverにおいて動画広告を発信。

(YouTube及びTver: 3月7日(火)～3月16日(木) 配信済)

特設サイトには、3月6日(月)から掲載し、広告配信終了後も継続して掲載。

- ポスター、バナー広告 : 店舗等で活用できるポスターの作成及び検索サイトの Yahoo 及び Google の広告提携ネットワークを通じてバナー広告を発信済。



(2月27日(月)～3月16日(木))



# 令和4年度補正予算

## 円滑な価格転嫁に向けた消費者理解醸成対策委託事業

### 1. 事業目的

消費者及び食品産業事業者に対して、インターネットなど各種媒体を活用し、食品の生産・流通の実態とコスト高騰に関する実態に関する広報を行い、農林水産業・食品産業の事業者が価格転嫁を進めやすい環境の整備を図る。

### 2. 事業内容（広報テーマ）

- (1) 食品の生産・流通に関わる実態並びに生産資材、原材料等のコスト高騰の状況及び背景（気候変動による主産地の不作等）についてわかりやすく伝える。その際、原材料等のコスト高騰だけではなく、温室効果ガス排出量の把握・削減、環境・人権等のESG課題への対応、国産原料への切替、物流課題への対応など、様々な社会課題への対応に必要となるコストについても取り上げる予定。
- (2) 消費者が食品を購入する際に、価格の安さだけではなく、食の本来の価値や魅力、さらに持続可能な社会に向けた課題などに関心（上記①で取り上げる生産・流通に関する実態等）を持ってもらい消費行動を見直し、変革してもらうための情報発信を行う。（例：エシカル（倫理的）消費、環境に配慮された商品の優先的な購入等）

### 3. 情報発信方法等

特設ウェブサイトによる情報発信、TV・インターネット広告配信、シンポジウムの開催など